

津市長

前葉泰幸

ライフネット生命

出口治明さん

# たまたまの出会いから 生まれた還暦ベンチャー

平成28年1月29日、プラザ洞津にライフネット生命保険株式会社の出口治明代表取締役会長兼CEOをお迎えし、会社を興されたエピソードやふるさと津市への思いについて、前葉泰幸市長がお話を伺いました。

撮影場所  
プラザ洞津

市長 出口さんは津市美杉町(旧美杉村)出身で、今日は「津市産業振興セミナー」でご講演をいただくため、ふるさとにお帰りになりました。

津市の皆さんが出口さんに憧れを持っており、一度話を聞いてみたいという声が非常に多かったのです。

出口 うれしいです。とてもありがたいです。

市長 出口さんは日本生命保険相互会社に長くお勤めになられ、その後、新しい会社を興されました。

60歳で起業をされたということで、ご講演い

ただくタイトルも「還暦ベンチャーの経営戦略」ということですね。「還暦ベンチャー」についてお話しいただけますか。

出口 ベンチャー企業を興すということは、いろいろな偶然の重なりだと思います。「天の時」「地の利」「人の和」(※)という言葉もありますが、私が60歳の時に保険会社を開業したのは、その頃に人との出会いがあり、タイミングが合ったということです。

(※孟子「天の時は地の利に如かず地の利は人の和に如かず」)

市長 俗にベンチャーと言いますと「一発当ててやろう」とか「今の会社を飛び出して」というイメージがありますが、出口さんは大企業のど真ん中で堂々たる仕事をなさった上でのベンチャーですから、少しイメージが違いますよね。

出口 私も以前の会社に不満があったわけではなく、楽しく仕事をしていたのですが、たまたま出会いがあって「会社をつくりませんか」と言われ、思わず「はい。いいですよ」と返事したために、67歳を過ぎた今、人生で一番長く働く羽目になってしまったのだなと思っています。「出会い」の部分が大きいです。

